

7月の園だより

令和5年6月27日

行事を楽しむ子どもたち

嫩幼稚園長 塚 正 司

梅雨真っ只中。毎日、蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは幼稚園で、この時期ならではの遊びを楽しみ、笑顔いっぱい、元気いっぱいで生活しています。

6月は、たくさんの行事がありました。

6月3日（土）の親子学級は、親子での遊びやふれあい活動を通して、楽しいひと時を過ごすことができました。保護者ボランティアのご協力で、園庭の側溝がとてもきれいになりました。

6月6日（火）は、園バスで西尾市の斉藤農園へイチゴ狩りに行ってきました。農園の斉藤さんは、今年も子どもたちが来るのをすごく楽しみにされていました。イチゴを採っている子どもたちは、生き生きとしていました。子どもたちは、自分で採ったイチゴをおいしそうに食べていました。斉藤さんは、「毎年、子どもたちのたくさんの笑顔が見られるのがすごくうれしい！」とおっしゃっていました。

6月19日（月）には、年長・年中の子たちが農遊館の近くの畑に、ジャガイモ掘りに行きました。雨天のため、1週間伸びましたが、子どもたちは一生懸命ジャガイモ掘りに挑戦していました。「すごく大きいのが取れた！」「いっぱい取れた！」など、子どもたちは達成感を味わいました。子どもたちが多くの体験をすることが大切だと思いました。

7月1日（土）より、こあら組の峰原帆波教諭が産休に入られます。その代替教諭として、大下彩花教諭が担任として入られます。よろしくお願いいたします。

これから、梅雨が明けると、本格的に暑くなってきます。熱中症対策にもしっかりと取り組んでいく必要があります。子どもたちの健康と安全に十分気をつけて、幼稚園での活動を行っていききたいと思います。



ジャガイモを掘る子どもたち